

# 清流の国ぎふ

岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標

【養護教諭】



## ～目標人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と  
誇りを胸に、よりよい未来の実現に  
挑み続ける人

## ～岐阜県が求める教師像～

- ◎児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
- ◎誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
- ◎幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

	スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
保健管理	応急処置	健康管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けています。	意欲的に健康管理や健康指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を發揮する。	活躍ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。
	心身の健康管理		けがや疾病に応じた応急処置を迅速に行なうことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、応急処置を的確に行なうことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、教職員等への周知と啓発を行うことができる。
	学校環境の管理		健康診断や管理指導表等に基づく児童生徒等の健康管理や、感染症の予防対策ができる。	児童生徒等の適切な健康管理や、感染症の効果的な予防対策ができる。	最新の知見を収集し、児童生徒等の健康管理や感染症の予防対策に生かすことができる。
健康指導	児童生徒理解	児童生徒の体と心の状態を把握しようと努力している。	学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が適切に実施でき、改善に努める。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るために環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るために環境づくりを推進できる。
	保健教育		児童生徒の健康状況を把握し、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境や背景を理解し、児童生徒の理解を図ることができる。	児童生徒の自己肯定感を高めることを意図した指導を行うことができる。
	健康相談活動		指導計画に基づく保健教育等を行なうことができる。	担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育等を行なうことができる。	ヘルスプロモーションの理念に基づき、自己の健康をつくろうとする指導を行なうことができる。
経営・分掌	保健室管理	分からぬことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいくようとしている。	日常の児童生徒の健康状態を把握し、個々の健康課題に応じた相談活動が実施できる。	心身の健康課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した健康相談活動が実施できる。	コンプライアンス意識を高くもち、健康相談活動について、指導的立場を果たすことができる。
	保健組織活動		学校保健活動のセンター的役割を理解して、保健室経営ができる。	学校保健活動のセンター的役割が機能した保健室経営ができる。	保健室経営について、指導的立場を果たすことができる。
	危機管理		保健組織活動の意義を理解し、各種会議等に意欲的に参加できる。	校区の学校や地域の関係機関、団体と連携した保健組織活動を企画・運営することができる。	学校における働き方改革の視点を踏まえながら、保健組織活動について、指導的立場を果たすことができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的な配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	管理職、保護者、医療機関等への報告・連絡・相談を遅滞なく行なうことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行なうことができる。	未然防止や対応のノウハウ等について、事例をもとに指導的立場を果たすことができる。
ICTや情報・教育データの利活用	学校保健におけるICT活用の意義、教育データの必要性について理解している。	個別の教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	個別の教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直しながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、個別の教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターとともに保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。

### 【基礎形成期】

### 【資質向上期】

### 【資質充実期】

### 【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



- ・自分が得意な内容、領域を磨いている。
- ・他の人がもっているもののよさに気付き、取り入れてみる。

- ・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
- ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

- ・若手や同僚に共感する。
- ・自分の知恵や経験を活かす場がある。



教員が成長し続けるために大切な姿